

# 志木ロータリークラブ

2022-23年度 国際ロータリー 会長 ジェニファー・ジョーンズ「イマジン ロータリー」  
 2021-22年度 第2570地区 ガバナー 村田貴紀「地域と世界でつながる力を磨き奉仕を实践しよう」  
 2021-22年度 志木ロータリークラブ 会長 小林八郎「新たな一歩」

第2343回 移動例会 2022-7-27

## ガバナー補佐訪問

- ◎司会 三上 隆俊 副会長
- ◎点鐘 小林 八郎 会長
- ◎ソング 我等の生業
- ◎四つのテスト 古田 征也 副SAA
- ◎ゲスト 山崎 一吉様 (ガバナー補佐)

**歓迎！ 村田ガバナー公式訪問 8月3日**

2022-2023年度 地区スローガン：  
 地域と世界でつながる力を磨き  
 奉仕を实践しよう！



第2570地区  
 村田貴紀ガバナー  
 (2570 パスポートRC)

※2570パスポートRCのHPから転載させて頂きました

### 「会長挨拶」

会長 小林八郎



本日は、ご多忙の中、山崎ガバナー補佐にお越しいただき、誠にありがとうございます。今年度のクラブ活動について、ご指導、ご助言をよろしくお願いいたします。

さて、今年度のRI会長ジェニファー・ジョーンズ氏は、「イマジン ロータリー / Imagine Rotary」をテーマとされ、また地区においては、村田ガバナーが、地区スローガンを「地域と世界でつながる力を磨き 奉仕を实践しよう」とされ、次のようにおっしゃっています。

「想像をしてください。クラブの5年後、10年後もしくは15年後…、クラブ会員は増えていますか？ 時代に即した魅力あるクラブになっているのでしょうか？」と

村田ガバナーは問いかけています。

これは、地域の他団体とのつながりを高め、知り合いを広めることにより奉仕の機会とすることの実践が、我々に期待されていると私は考えています。

クラブの5年後、10年後のために今こそ力を磨き、行動をしていなければならない、ということに共感するところであります。そこで、私の会長テーマを「新たな一歩」といたしましたので、改めて説明をさせていただきます。

結論から先に申し上げますと、志木ロータリーの近未来につながる新たな一步を考える一年とし、今年度の柱としたい取り組みは、極めてシンプルに「親睦と増強」としました。

さて、地球温暖化の影響からでしょうか、7月は気象変動が激しく、県内でも集中豪雨による被害や竜巻も見られました。さらには、7月中旬頃から新型コロナウイルスの感染者数が急増し、第7波が押し寄せています。7月14日には日本での累計感染者数が1千万人を超え、日本の総人口1億2000万人余りに対し、単純計算すると、日本国内では12人に1人が、新型コロナに感染したことになります。今年に入ってから、第6波、第7波で現状の8割、約800万人が感染するほど、感染の速度が恐ろしいほどであり、連日10万人近くが感染している状況ですから、今後の行事やイベント等の開催ができるのかと危惧されるどころです。

また、新型コロナの流行が子どもの生活や健康に与える影響について、国立成育医療研究センターが小学5年生から中学3年生までの子どもと保護者、合計約5,400名を調査しました。その結果、小学校高学年から中学生の子どもの1~2割にうつ症状が見られたことが報道され、家庭内で抱え込む傾向も浮き彫りになりました。

そのような状況を鑑みると、2年以上と長きにわたるコロナ禍により、人と人とのつながりが希薄になったことが子どもたちへも影響しているのかなと思えてなりません。

志木クラブにおいては、次の5年、10年を見据えながら、老・壮・青のつながりを一層深め、可能な限り、親睦の強化を図っていきたくと考えます。

つきましては、引き続き県や市の感染症対策の動向も注視しながら、経済活動を止めないよう、できる限りの活動をお願い申し上げます。

さて、村田ガバナーの問いかけでもあります「5年後、10年後のクラブの姿を想像する」

にあたり、ロータリー会員数の推移を改めて見てみました。

2570地区で約10年前の2011年度が1733人、2022年の現在では、1585人となり、約10年で148人、8.5%の減少です。

志木クラブでは、10年前が49人、現在は41人となってしまい、約16%の減少です。減少率を地区と比較すると、2倍近くになっているのが現状です。

さらに、1年間の平均新規加入数を確認してみたところ、20年前までは年間平均で約3.4人が加入していましたが、直近の20年間でみると、1.7人、1.6人と新規加入数が約6割減少している状況が分かり、由々しき事態だと思われま。

そうした会員減少の傾向、とりわけ1年あたりの新会員加入数が極めて減少している状況から新たな光明をみつけ、その光明に向かって踏み出せるよう、親睦プラス増強、新たな一步とは何かを考える一年にしたいと思いません。具体的な行動は3つです。

まず一つ目は、会員同士のふれあい促進のきっかけづくりのためにも、老・壮・青のつながり強化のためにも、感染症に注意しながら親睦活動を強化し、そのための「炉辺活動」を活発化していただきたい。十杯のお茶より1杯の酒と聞きます。感染症に注意しながら、地域の飲食店の応援も図り、コミュニケーションを活性化してください。

二つ目は、会員増強の見直しです。推薦人の想いを尊重しながら、広い視野、広い心も持って、対象を広げ、正会員の増強を図っていかねばなりません。女性会員も大歓迎です。さらに、対象者の裾野を広げ、社会奉仕活動などについて、新たな考え方、アイデアを取り入れるため、賛助会員の制度づくりも考えていく必要があるのではないのでしょうか？ 賛助会員から正会員へといった道筋も検討できるのではないかと考えています。

そして、三つ目は、新型コロナによって、会員の顔が見られない、話を聞けることが極端

に減った現状であることから、例会時に「会員フリースピーチ」をお願いしたいと思います。輪番制でテーマは自由、3分から5分程度の会員スピーチにより、メンバー各位の元気な「顔と言葉」をくださいますようご協力をお願いします。8月第2例会から実施したいと思いますのでよろしくをお願いします。

以上、3つの取り組みへのご協力を改めてお願いいたします。

結びに、希望ある未来へ向けて、より楽しく、活気あふれるクラブにしていくことを目標として、「新たな一歩」を共に考えていただけますよう、ご協力をお願い申し上げ、会長の挨拶といたします。

### 「幹事報告」

幹事 吉原 正

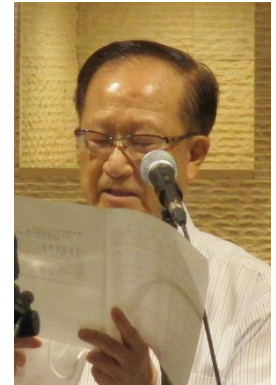


1. RI 会長よりメッセージ受信
2. 地区事務所より 2 件受信
  - ①新型コロナ新規感染者再拡大についての注意
  - ②2022 年度米山記念奨学委員会研修旅行案内
3. 第2グループガバナー補佐より 3 件受信
  - ①第2回会長幹事会開催案内
  - ②2022-23 年度第1回会長幹事会会計報告
  - ③2022-23 年度第1回会長幹事会議事録
4. 米山記念奨学会よりハイライトよねやま Vol.268 2022年7月13日受信
5. (財)比国育英会バギオ基金よりバギオだより Vol.91 2022年7月号受信
6. 志木市川と街をきれいにする運動推進協議会より川・街エクスプレス(第47号)受信

### 「2021～22年度 一般会計収支報告」

●前年度会計報告 前年度会計 上野剛彦  
2021～22 年度の一般会計収支報告を致します。(別紙にて配付)

●前年度監査報告 前年度監査 山村昭康  
監査の結果、正確且つ適切に処理されていることを認めましたのでご報告致します。



### 「委員会報告」

●創立50周年事業委員会 副委員長 岩下正基



新市庁舎が完成し、クラブ創立50周年記念事業の市民憲章(旧庁舎完成時にクラブが寄贈したもの)の再設置がされました。又、駅前交番前のカップ像(喋喋喃喃)の移設が去る7月18日に完了しましたのでご報告いたします。

●社会奉仕委員会 國分 学委員  
夏の非行・薬物乱用防止キャンペーン報告

7月24日(日)に志木駅東口駅前交番前で志木市青少年育成市民会議による“夏の非行・





薬物乱用防止キャンペーン”に志木ロータリークラブとして参加してまいりました。当日は3年ぶりの敷島のお祭りとも重なりたくさんの方で賑わう中、非接触を基本にオリジナルマスクとティッシュを配布し、青少年の薬物乱用防止に協力しました。

当日は民生委員、保護司、PTA等16団体32名の参加となりました。

## 「卓話」

### 「ガバナー補佐卓話

#### 地区とクラブを繋ぐ」

RI 第2570地区 第2グループ

ガバナー補佐 山崎一吉様(朝霞RC)

皆さん、こんにちは。

2022-23年度、第2570地区第2グループガバナー補佐を拝命致しました、山崎一吉です。本日はガバナー補佐訪問例会ということで、志木ロータリークラブ例会に出席をさせていただきました。どうぞよろしくお願ひ致します。

まず初めに、私の自己紹介をさせていただきます。私は、1962年12月17日、埼玉県朝霞市に生まれました。地元の市立小学校、中学校に入学し、中学生ではクラブ活動としてハイキング部に所属し、山登りを行っておりました。高校を卒業後、専門学校に入学し、経済学や簿記の勉強を行いました。専門学校を卒業後、1984年(昭和59年)4月、父の経営する株式会社堀内発條製作所に入社、製造部で金型の製作に取り組み、1988年(昭和63年)4月



に同社の取締役役に就任、その後、父の逝去に伴い、1993年(平成5年)7月に同社代表取締役役に就任し、現在に至っております。株式会社堀内発條製作所は、電子機器部品に使用されるワッシャー部品を製造販売しております。ロータリー歴は、2022年(平成34年)7月に朝霞ロータリークラブに入会、2011-12年度に同クラブの会長に就任、そして本年度はRI第2570地区第2グループガバナー補佐に就任をさせていただきました。ロータリー歴も今年の7月でちょうど20年を迎えました。このように浅学菲才の身ではありますが、ガバナー補佐の任務を遂行してまいりる所存ですので、一年何卒よろしくお願ひ申し上げます。

さて、本年度、RI会長テーマは「イマジニロータリー」です。「昨日のことをイマジニ(想像)する人はいません。それは未来を描くことです。」とおっしゃっております。また、2022-23年度地区スローガンは「地域と世界でつながる力を磨き奉仕を実践しよう」であります。本年度は、ロータリーの未来を創造し、より良い奉仕を実践しようということかと思ひます。皆さん、力を合わせて達成していきましょう。また、ジェニファー・ジョーンズ会長が重要視している事柄として「多様性、公平さ、インクルージョン(DEI)に関する声明」があります。少し説明をさせていただきますと、Diversity(多様性):ロータリーは、あらゆる背景をもつ人や幅広い文化、経験、アイデンティティの人を歓迎します。Equity(公平さ):

出席は会員の義務です。マークアップを忘れずに!

◇2343-4  
志木RC会報

■和光RC

毎週(月)12:30~13:30 郵便事業(株)和光支店3F

事務局 048-465-0088

■朝霞キャロットRC

第2第4(月)19:00~20:00 スマイルホテル 3階ホール

事務局 048-470-6811

ロータリーは、クラブ会員の公平な扱いと機械の均等を保つよう努めています。Inclusion (包摂的)：ロータリーは、あらゆる人が歓迎されていると感じ、尊重され、会員として大切にされるクラブの環境づくりに力を注いでいます。今後も DEI について、深く学んでまいりたいと思います。

今回、志木ロータリークラブに訪問をさせて頂き、2022-23年度の年度計画書も拝見させて頂きましたが、どの委員会も活発な事業を計画され、大変感服致しております。特に感じたことは志木ロータリークラブには小諸ロータリークラブという姉妹クラブがあり、親交を行っているとのことであります。遠方クラブとの交流は、その土地の伝統文化を学べると共に先方クラブ会員との友愛を深めることができます。是非、今後も活発な交流を頂ければと思います。また、志木は川の町でもあり、社会奉仕委員会が計画される川と町をきれいにする運動への参加はぜひ今後も推進頂ければと思います。

結びに、ロータリーは、親睦と奉仕を行う団体です。今後も益々志木ロータリークラブが、会員との交流を深め、より良い奉仕活動が実践できます様、ご祈念を申し上げまして、本日の卓話とさせて頂きます。ご清聴ありがとうございました。

「クラブ協議会」 議長:小林八郎会長



【クラブ奉仕委員会】 委員長 高橋健一郎



クラブ奉仕委員会はご存じの通り、会員増強、職業分類、公共イメージ、雑誌、クラブ会報、プログラム、出席向上、親睦活動、小諸交流の9つの特定委員会がございます。

本日はそれぞれの委員長に山崎ガバナー補佐からいただいている3つのテーマになるべく沿って発表していただくことになっております。宜しくお願い致します。

★会員増強・R情報委員会 委員長 大村相基



人材は力なり。創立50周年を経て「新たな一歩」を踏み出し、より魅力的なクラブにするため、皆さん一丸となって積極的な会員増強活動を実行して参りましょう。

また、ロータリーの情報収集を行い、会員と共有することでクラブ活動の活性化に努めます。

★職業分類・会員選考委員会 委員長 坂間智子

テーマ(1) クラブが取り組んでいきたいこと

○増強委員会と協力して増強に努力する。

○会員同士の親睦を深める。

明るく、魅力あるクラブにすることが増強につながると思います。

テーマ(2) 障壁があるとしたら

○コロナ禍の中で活動が充分出来ないことです。例会の回数が減り、昼食も一緒に出



例会は変更になる場合があります。ご確認下さい

■新座RC 毎週(木) 12:30~13:30 ベルセン  
■富士見RC 毎週(金) 12:30~13:30 島田ビル1F

事務局 048-473-7041  
事務局 049-251-6596

2343-5◇  
志木 RC 会報

来ずで、会員同士の友好の妨げになって  
おります。

テーマ(3) クラブの未来に向けたビジョンに  
ついて

○会長方針「新たな一歩」を踏み出すことと  
思います。

○今まで行ってきた川街の清掃、希望の風  
募金など多くの奉仕活動の継続が大切か  
と思います。又、地域の種々の活動に協力  
することも良いかと思います。

★公共イメージ委員会

委員長 古田征也



本年度の公共  
イメージ委員会  
での重点項目は  
事業計画の一つ  
でもあるホーム  
ページの活用で

あります。それに加え社会奉仕活動などでロ  
ータリージャンパーを着用したり、志木の広  
報誌に志木ロータリークラブの活動を掲載し  
ていただけるよう取り組み、志木ロータリー  
クラブの認知度を向上させて、会員増強にも  
繋がることを目指します。

★雑誌委員会

委員長 金剛光裕

基本方針

志木ロータリ  
ークラブの会員  
に、各地ロータ  
リークラブの情報  
を届けると共



に、雑誌に載った有用な情報を紹介するもの  
とする。

★クラブ会報委員会

委員長 上野剛彦



会員同士の親睦  
を深めるため、会  
報での、会員同士  
のコミュニケーション  
に役立つよう  
な記録保存と、会  
員増強につながるような情報発信に、会報委

員会として取り組んでいく。

基本方針

クラブ活動の情報を会報にまとめ、会員同  
士のコミュニケーションに役立つように、情  
報発信と記録保存に努める。

事業計画

- ・クラブ役員・各委員会・事務局と連携し、情  
報の発信と記録の保存を行う
- ・クラブの活動を分かりやすく伝える会報を  
作成する
- ・正確な会報を作成するため、報告者に原稿  
の提出を依頼する
- ・会報作成のための段取りや編集作業の合理  
化を検討する

★プログラム委員会

委員長 國分 学

今年度、小林年度  
プログラム委員長の  
國分学です。今年度  
プログラム委員会の  
年度方針と事業計画  
を報告いたします。



今年度のテーマ

「新たな一歩」を基本に、3年間コロナの障壁  
の中で本来一番大事な会員交流が出来なかつ  
たことを踏まえ小林会長の思いでもある親睦  
と増強を強化することを基本方針として計画  
してまいります。

事業計画としては、会長方針を基本に月間  
のテーマを各委員会と連携し、情勢と状況に  
合わせた卓話者を推薦いたします。

最後に今年度小林会長の今後の志木クラブ  
の大きな改革の期待と更なる発展を祈念して  
報告いたします。

★出席向上委員会

委員長 内田栄信

ロータリアンが週一度の例会や委員会事業  
に参加することが会員間の情報交換と親睦を  
深める原点だと思います。

本年度の出席向上委員会は醍醐会員、武藤  
会員、そして内田3名で担当します。

出席は会員の義務です。メイクアップを忘れずに！

■和光 21 幸魂ロータリー衛星クラブ 第2第4(土) 13:00～ 和光市中央公民館 事務局 048-465-0088





醍醐会員と武藤会員は数多く地区に出向して活躍していますので、その貴重な経験を活かしていきたいと思

います。事業と致しましては、プログラム委員会が企画した例会案内や各委員会の事業が決定次第、会員の協力、出席 PR をします。

◎やむを得ず例会欠席をする場合は、メーカーキャップをお願いします。

※2570 地区第 2 グループの開催日時・会場を案内します。

★親睦活動委員会

副委員長 影山和良



宮田泰彦委員長は資格試験のため欠席してすみません。

○あなたのクラブが取り組んで

いきたいことは何ですか？

3 年以上と長きに渡るコロナ禍の中、人と人とのつながりが希薄になってしまいました。本年度のテーマである「新たな一歩」を踏み出すため、老・壮・青のつながりを一層深め、コロナ禍の状況を見ながら可能な限り、会員相互の親睦を強化したいと思っておりますが、そこには大きな障害もあります。

コロナ禍でさて？どのように事業を実現していくかを考える必要があります。今年小林会長が目指す老・壮・青とは志木 RC 会員の大先輩や、今働き盛りの中年層、また新規会員も含めた青年会員の感染リスクが少ない状態で事業をどのように継続していきけるのかにチャレンジしていこうとしています。今現在、第 7 波が始まり重症化リスクも高まっていますので、今後 1～3 か月は状況を注意深く見ていく必要がありますが、今後益々知恵を絞らなければいけません。

当クラブでは今年、親睦活動と会員増強に

力を入れて参ります。親睦活動委員会は会員増強委員会と協力体制を整え新会員のフォローにもあたりたいと思っています。新会員がクラブに早くなじめるように少人数で集まり、メンバーと早く親しみが持てるような機会を創り、RC 活動や例会やロータリークラブとはどんな組織なのかも話し合う場を設けたいと考えています。初めて入っても不安や解らない事など気軽に明るい雰囲気につなげたいと思います。また会員増強は委員会レベルでなく志木 RC の全員で協力し地域にいる素晴らしい人材を仲間に取り入れながらクラブの活性化へつなげたいので、会員の連携を生むためにも親睦活動が今年は重要な役割を担っていくと思います。

会員の皆様のお力をお借りしながら一歩ずつ前へ向かって参りたいので宜しくお願い致します。

★小諸交流委員会 クラブ奉仕委員長 高橋健一郎

小泉小諸交流委員長は本日所用でいらっしやいませので、時間の都合上、私から発表させていただきます。

コロナがもう少し収まってきたら、小林会長のご意向に従い、親睦を深めていきたいとのことでした。



山崎ガバナー補佐より総評をいただきました



●出席報告 出席向上副委員長 武藤典夫

会員数41名 出席義務者38名 免除者3名

本日出席	本日欠席	本日出席率
37名	4名	92.50%

前々回 MU	前々回修正出席率	平均出席率
(5名中1名)	90.00%	91.25%